

第18回 日本質量分析学会 北海道談話会・研究会

基礎講座（用語） 13:30～13:50

「今から聞けない質量分析用語の疑問点」 神戸大学バイオシグナル総合研究センター 吉野 健一

一般講演の部 13:50～15:05

「質量分析計を用いたAurantiochytrium由来のトリグリセリド分析法の確立」

本研究では、LC/Q-TOF MSを用いてAurantiochytrium sp. NBRC 102614株由来のトリグリセリドの分析を行った。HPLCの条件、コリジョンエネルギー等の条件を変えて分析を行った。その結果を報告する。

旭川工業高等専門学校 松浦 裕志

「高分解能質量分析計を用いた隕石中有機物形成過程としてのホルモース反応の検討」

始原隕石中には様々な有機分子が存在し、アミノ酸など生体関連有機物も発見されている。しかし、それらの有機分子の形成過程は明らかになっていない。その一つの可能性として、隕石母天体内でのホルモース反応が提案されている。我々は隕石母天体を模擬した条件下でホルモース反応による有機物合成実験を行い、実験生成物を超高分解能フーリエ変換型質量分析装置を用いて分析している。その結果をもとに隕石中に見つかる多様な有機分子の形成へのホルモース反応の寄与を検討した。実験の概要およびこれまで得られた結果について紹介する。

北海道大学理学院 磯野 雄生

「MALDI法およびSALDI法を用いたリンゴ果実のイメージング解析」

MALDIによるイメージング質量分析は、近年、動物のみならず植物を対象としたアプリケーションの開発が進められている。リンゴ果実内での糖質の濃度分布を明らかにするため行ったMALDIおよびSALDIによるイメージングについて紹介する。

北海道大学農学院 堀川 謙太郎

話題提供の部 15:05～15:35

「MSを用いた新規微生物代謝産物の探索」

微生物化学研究所 澤 竜一

「コーヒーの簡易異同識別」

産業技術総合研究所 津越 敬寿

コーヒーブレイク 15:35～15:45

企業技術報告の部 15:45～16:45

「LC/MS/MSを用いたメタボロミクス新技術ご紹介」

株式会社 島津製作所 渡辺 淳

「高感度化とソフトイオン化の両立を実現する新技術」

日本ウォーターズ株式会社 江崎 達也

「極性化合物が保持しやすいODSカラムのご紹介」

ジーエルサイエンス株式会社 寺島 弘之

「ロボットへと進化したPALによる前処理の自動化」

エーエムアール株式会社 塩田 晃久

ポスターセッション 16:45～17:15

株式会社 島津製作所 / 日本ウォーターズ株式会社 / ジーエルサイエンス株式会社 / エーエムアール株式会社
ジャスコインタナショナル株式会社

懇親会 18:30～20:30

会場：札幌駅周辺

会費：4,000円程度 事前の申し込みが必要です(※10月10日) ※当日ご欠席の場合もご負担していただきます

日時：2016年

10月17日 月

13:30～17:20

受付 13:00～

【お申し込み】

①氏名、②所属、③日本質量分析学会員の有無、④懇親会参加の有無を添えて、下記の問い合わせ先へメールでお申し込みください。

※資料をご用意しますので、事前申込にご協力ください。

【お問い合わせ】

北海道談話会世話人代表 岡 征子
(北海道大学創成研究機構グローバルファシリティセンター)
E-mail: hokkaido15@mssj.jp

会場：北海道大学創成科学研究棟

5階大会議室 札幌市北区北21条西10丁目



参加
無料

【主催】

日本質量分析学会北海道談話会

<http://cent-scorpio.asahikawa-med.ac.jp/akutsu/mass/HMSM/>